



2025年12月期 第1四半期

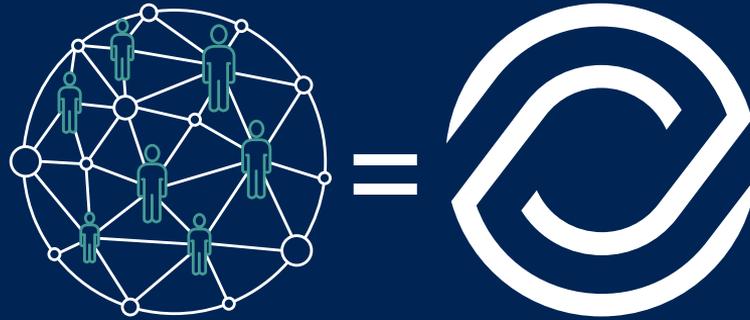
決算説明資料

FINANCIAL RESULTS FOR THE FIRST QUARTER 2025

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーとweb3/DAOに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略

当社事業概要



カーブアウト企業および投資先企業の株式売却益を
新規事業・投資先へ再投資



2025年12月期 第1四半期 :ソーシャルメディアサービス事業

CREAVEがショートドラマを自社制作し、ショートドラマ市場への本格参入を開始

ショートドラマ国内市場は、2026年に1,500億円(※)に成長。

急成長するショートドラマ市場にCREAVEがショートドラマ「配信恋愛、蜜の味」を制作し3月より配信開始。



※市場調査会社のYHリサーチ調べ。

2025年12月期 第1四半期 :ソーシャルメディアサービス事業

子会社オリジナルのショートドラマが、開設から2週間で10,000フォロワーを突破！

ガイアックス子会社CREAVEが手掛ける、新感覚バーチャルショートドラマアカウント“本気出すのは明日から。”が、開設から2週間で10,000フォロワーを突破。

制作受託だけでなく、独自のIP(知的財産、Intellectual Property)の育成に着手・拡大に着手。



開設からわずか**2**週間で

10,000人 フォロワー獲得!

再生 **900万**回突破!

本気出すのは明日から

人見知り男子にとって
一生忘れられない時間

CREAVE

The graphic is a yellow-bordered rectangle with a white grid background. On the left, a smartphone screen shows a scene from a short drama with a young man and woman at a desk. A sign on the desk reads "人見知り男子にとって一生忘れられない時間". Above the screen, a blue speech bubble says "開設からわずか2週間で". To the right of the screen, large blue numbers "10,000" and "900万" are displayed, with "人 フォロワー獲得!" and "回突破!" respectively. At the bottom right, the text "本気出すのは明日から" is written in a blue, handwritten-style font. The CREAVE logo is in the bottom right corner.

2025年12月期 第1四半期 : インキュベーション事業

スタートアップ育成5か年計画で増加する全国の自治体の起業家輩出支援、
web3/DAOコンサルティングを中心に提供



2025年12月期 第1四半期 : インキュベーション事業(起業支援)

東京都「令和7年度TIBにおける学生等コミュニティ形成事業(以下 TIB JAM)」に採択

東京都が運営するスタートアップ支援拠点okyo Innovation Baseにおいて、学生のスタートアップへの挑戦など、アントレプレナーシップの醸成のため様々なイベントやコミュニティ支援を行う。



トングツカタン 森本さんも参加!

SusHi Tech TOKYO 2025
中高生ピッチコンテスト
SusHi Tech Teen Challenge 2025

登壇者 観覧者
募集開始

5月10日(土)
10:00-12:30
東京ビッグサイト
SusHi Tech Tokyo 2025
パブリックティ内で開催

審査員

- 金井絵里花さん
AIRRI 株式会社
Senior Associate
- 中村多岐さん
株式会社世田谷区代表取締役CEO、F&A(A)ファンド代表パートナー
- 山内颯斗さん
株式会社Cob
代表取締役CEO

スペシャルゲスト
司会
トングツカタン
森本さん

2025年12月期 第1四半期：インキュベーション事業(web3/DAO)

DAOX

群馬県より受託の「Web3コミュニティ(DAO)による地域課題解決実証事業」にて、「ぐんま山育DAO」が資金調達を開始

株式会社型DAO型を用いた地場ワイン醸造プロジェクト「ぐんま山育DAO」が発足。本DAOによる資金調達は、プレ応募時点で出資者00名弱、総額400万円に。今後3,000万円の資金調達を予定。



群馬県庁NETSUGENにて発足報告会を実施

2025年12月期 第1四半期:出資先動向



《出資先》短距離・ラストマイル物流の株式会社エニキャリア
テクノロジー企業成長率ランキング「Technology Fast 50 2024 Japan」で22位を受賞

日本国内のテクノロジー・メディア・通信業界の企業を対象にした過去決算期の収益(売上高)に基づく成長率55.4%を記録し、22位を受賞(デロイトトーマツ発表)。前回1位受賞に続き、2年連続ランクイン。



《出資先》住んだ日数分の家賃で暮らせる住まい「unito」を運営する株式会社Unito
テクノロジー企業成長率ランキング「Technology Fast 50 2024 Japan」10位を受賞

過去3決算期の収益(売上高)に基づく成長率39%を記録し、10位を受賞(デロイトトーマツ発表)。また、「アジア太平洋地域における急成長企業ランキング2025」(Financial Times、Statista 発表)に2年連続ランクイン。



《出資先》デジタルIDとオンライン本人確認KYCを展開する株式会社TRUSTDOCK
住友生命の「Chakin」に公的個人認証をはじめとしたeKYC本人確認サービスを提供
住友生命の「Chakin」、はなさく生命の「はなさく変額保険」における代理店での非対面募集時のオンライン本人確認手続き、JR東日本スマートロジスティクスの多機能ロッカー「マルチエキューブ」にeKYC本人確認サービスを提供。

2025年12月期 第1四半期 振り返り

連結業績

売上高:	876百万円	前年同期比:	14.3%増
営業損益:	9百万円	前年同期比:	

ソーシャルメディアサービス事業

売上高:	640百万円	前年同期比:	15.5%増
営業損益:	53百万円	前年同期比:	40.2%減

インキュベーション事業

売上高:	238百万円	前年同期比:	11.8%増
営業損益:	54百万円	前年同期比:	636.3%増

連結売上高の推移

SNS運用・マーケティング
支援が引き続き好調

起業支援業務の自治体案件の計上も売上高増加に
貢献



EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。

連結営業損益の推移

今後の収益基盤の強化に向けた投資を継続しており、引き続き販管費が増加傾向

特に、ショートドラマ事業の先行投資により販管費が増加し、利益を押し下げ

(百万円)



EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。

2025年12月期 第1四半期 連結PL(四半期会計期間比較)

先行投資の継続により販管費が増加しつつも、前年比較での収益は改善傾向

単位:百万円	2024年12月期 第1四半期	2025年12月期 第1四半期	YoY	2024年12月期 第4四半期	2025年12月期 第1四半期	QoQ
売上高	767	876	+14.3%	807	876	+8.6%
売上総利益	415	470	+13.3%	434	470	+8.4%
販売費及び一般管理費	417	461	+10.6%	489	461	-5.8%
営業損益	△ 1	9	-	△ 55	9	-
経常損益	10	18	+70.9%	△ 81	18	-
親会社株主に帰属する 当期純損益	9	15	+59.1%	△ 165	15	-

2025年12月期 第1四半期 連結B/S

上場分の価値下落と一部銘柄の減損損失の計上により、営業投資有価証券の残高が減少

自治体案件の計上と請求が2025年3月に集中することによる収支ズレの影響で、現預金残高が減少

単位:百万円	2024年12月末	2025年3月末	増減
流動資産	2,173	2,096	△ 76
現預金	906	595	△ 311
受取手形・売掛金	442	578	+ 136
仕掛品	132	155	+ 22
営業投資有価証券	641	555	△ 85
その他	49	211	+ 161
貸倒引当金	0	0	0
固定資産	167	175	+ 8
有形固定資産	22	24	+ 2
無形固定資産	56	55	0
投資その他の資産	88	94	+ 6
総資産	2,340	2,271	△ 68
流動負債	724	727	+ 2
支払手形・買掛金	115	170	+ 54
短期・1年内返済長期借入金	154	128	△ 25
その他	454	428	△ 26
固定負債	350	323	△ 27
長期借入金	221	206	△ 15
繰延税金負債	129	117	△ 11
その他	-	-	-
純資産	1,264	1,220	△ 43
株主資本	908	898	△ 9
その他の包括利益累計額	348	315	△ 33
新株予約権	7	7	0
負債純資産合計	2,340	2,271	△ 68

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略

ソーシャルメディア サービス事業 連結売上高の推移

引き続きSNS運用・マーケティング支援が好調で、大型案件の受注も売上高の増加に貢献

Webマーケティング支援のインフラ構築・運用においても既存顧客からの売上が安定的に推移

EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



ソーシャルメディア サービス事業 連結営業損益の推移

売上増加の一方で、ショート
ドラマ事業の先行投資により
販管費が増加し、利益を押し
下げ



EDGE株式会社は2021年1月に連結除外とな
っております。

インキュベーション事業 連結売上高の推移

各サービスのランニング収入に加え、前連結会計年度に受託した複数の起業支援業務の自治体案件の納品が完了し、売上高の増加に貢献



インキュベーション事業 連結営業損益の推移

前連結会計年度に受託した
複数の起業支援業務の自
治体案件の計上が、利益に
貢献



2025年12月期 業績見通し

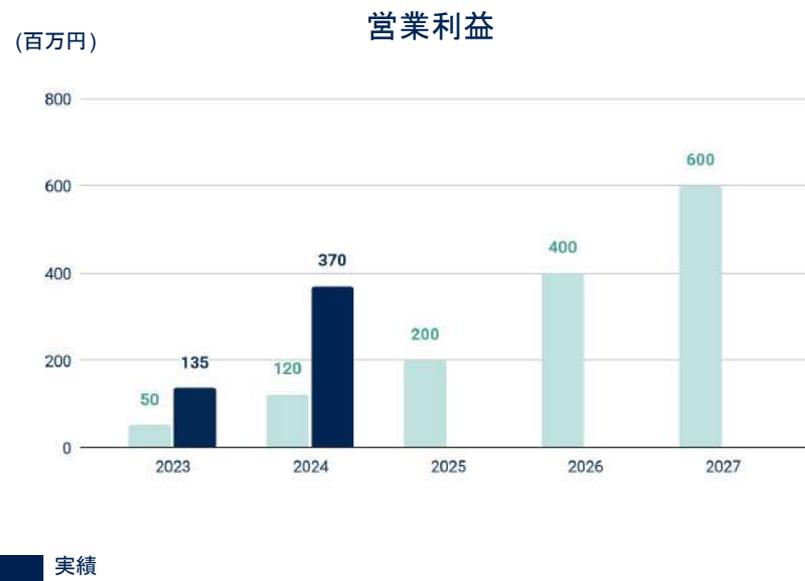
ソーシャルメディアサービス事業については、SNSマーケティング市場の成長が引き続き見込まれており、当社グループが提供するSNSを中心とした統合型マーケティングに加え、動画を中心としたクリエイティブ領域にも注力し、事業領域の拡大と売上高増加を図ってまいります。ショートドラマ事業への参入による投資が先行する想定です。

インキュベーション事業においては、政府の「スタートアップ育成 5か年計画」を追い風に、引き続き自治体、教育機関等からの起業支援プログラムを受託しております。また、当社グループの新たな収益の柱とすべく web3(DAO・自律分散型組織)に注力しておりますが、現状はDAOの社会実装に向けた環境整備を推進し、より多くの組織・コミュニティが DAOを活用できる基盤を築くための投資フェーズであり、開発コスト及び人件費等が先行する想定です。

単位: 百万円	2024年12月期 実績	2025年12月期 予想	YoY
売上高	3,370	3,300	-2.1%
営業損益	370	200	-46.0%
経常損益	364	200	-45.2%
親会社株主に帰属する 当期純損益	286	180	-37.1%

中期経営方針の進捗状況

2024年実績は計画に対して、売上高 +13.4%、営業利益 +208.7%上振れ



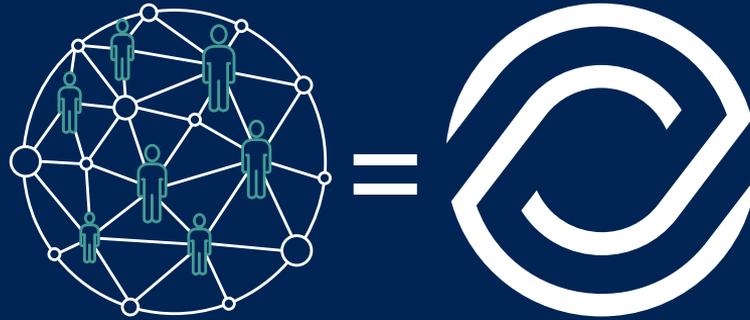
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

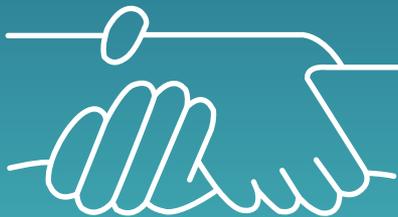
EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーとweb3/DAOに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

人と人がつながる社会とは

世界中の誰もが、他人のことを自分のことのように感じ、
互いが互いを自然と助け合う社会



現在の社会課題



環境汚染



大量生産・大量消費



大量廃棄



飢餓・貧困

資本主義の枠組みでは解決できない課題

現在の社会課題



共通リソースの共有



共助による社会インフラ



資源の再分配



コミュニティの創生

シェアリングエコノミー、web3/DAOで持続可能な社会を作る

注力している3領域

SNSを軸とした
マーケティング支援



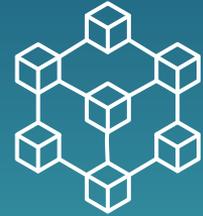
セグメント売上高前年比11.9%
成長、複数SNS横断の
マーケティング支援

起業支援
(スタートアップスタジオ)



1万人に起業家教育を提供、
自治体受託のスタートアップ
輩出支援が伸長

web3 / DAO



2024年法改正、日本初の
共創型プロジェクト支援
実績多数

ソーシャルメディアの運用・マーケティング支援

複数のSNSを横断し、統合的に企画・運用。さらに 縦型動画・クリエイティブニーズの伸びが追い風
ナショナルクライアントを中心に引き続き安定受注



運用実績10年以上、累計支援実績1,000社以上



ソーシャルメディアの運用・マーケティング支援

急成長するショートドラマ市場に対応し、ショートドラマ事業を強化
ショートドラマを自社制作し、ショートドラマ市場への本格参入を開始
ショートドラマ国内市場は、2026年に1,500億円※に成長。



- ① 35万人超のクリエイタープラットフォームを運営
- ② SNSマーケティング領域の豊富な実績
ショート動画制作実績500本以上の知見やノウハウを活用
- ③ ショートドラマに特化した制作体制

CREAVE

パナソニック社のロボット
「NICOBLO」を題材とした
オリジナルショートドラマを公開!

emole X NICOBLO

Original Short drama

配信恋愛、恋の味

恋の味

開設からわずか2週間で
10,000人 フォロワー獲得!
再生900万回突破!

本気出すのは明日から

CREAVE

※市場調査会社のVHリサーチ調べ。

起業支援(スタートアップスタジオ)

スタートアップ育成トレンドを背景に、自治体や民間企業からの案件受注を継続



自治体・企業からの案件受託



他多数



教育機関・自治体からの案件受託



他多数

DAOの立ち上げ支援・ツール提供

SNSはじめ、ファン・コミュニティのマネジメントの知見をweb3/DAO事業に活かし展開

GAIAX DAO
CONSULTING

DAOX



巻組
DAOシェアハウス
『Roopt DAO』



株式会社型
インベストメント DAO
『PlanetDAO』



地方自治体の
連合DAO
『美しい村 DAO』



総務省・異能 vation
DAOで進めるアイデアソン
『Innovation』



博報堂キースリー
企業と顧客の共創型
商品開発ソリューション



日本特殊陶業
蒲郡サーキュラー DAO



日本郵船
社内DAO



三井住友海上
三井住友海
上
DAO型採用



伊藤忠テクノソリューションズ
企業での DAO活用 PoC



大日本印刷
社内新規事業 /
PoCの予算決議の
DAO投票

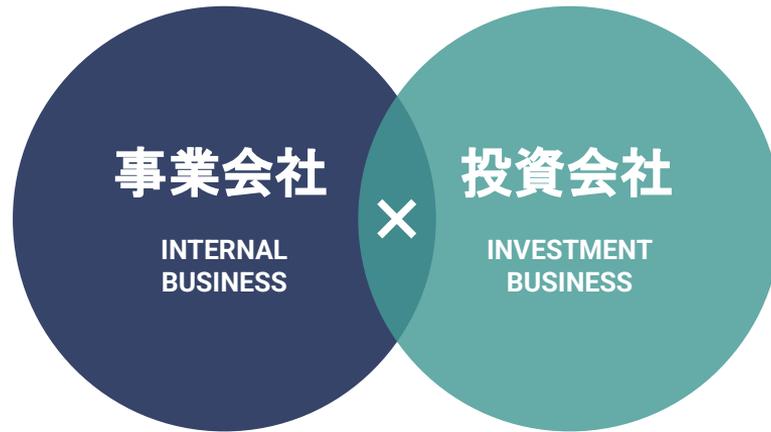


科学技術振興機構
DAO型アイデアソン



群馬県
地方創生「ぐんま山育 DAO」

社内事業と投資事業がハイブリッド型になった カーブアウト機能を持つ独自のビジネスモデル



カーブアウト: 会社分割の一種で、親会社が戦略的に子会社や自社の事業の一部を切り出し (carve out)、新会社として独立させること。

GAIAX INTERNAL BUSINESS

事業会社

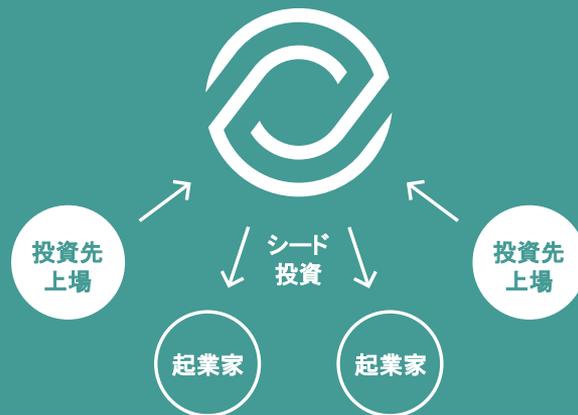
ソーシャルメディアマーケティング事業や
シェアリングエコノミーサービス事業などによる、
事業収益（インカムゲイン）を目指します。



GAIAX INVESTMENT BUSINESS

投資会社

社内外のスタートアップ企業へ投資し、
投資先企業が上場した際に利益を得る
投資収益（キャピタルゲイン）を目指します。



社内から連続的に起業家を輩出

これまで、投資先の卒業生の創業企業から4社が株式公開



2015年9月 東証マザーズ上場

時価総額 40億円
持分比率 7.56%



2015年10月 東証マザーズ上場

時価総額 81億円
持分比率 17.86%



2020年3月 東証マザーズ上場

時価総額 20億円
持分比率 41.79%



2021年11月 東証マザーズ上場

時価総額 228億円
持分比率 3.82%

※時価総額および持分比率は新規公開当時のものです。

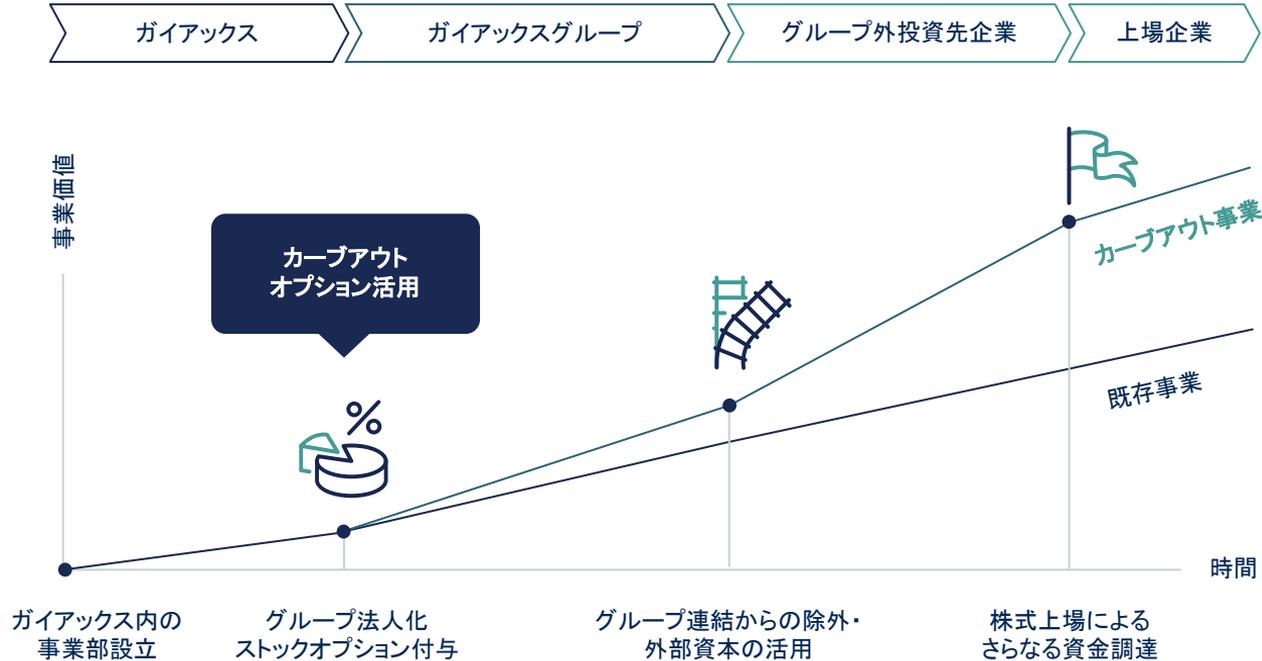


今後、「時価総額 数百億円 × 持分比率 10~30%」を目指す

この実現を目指し、優秀な人材獲得の強化
また、各事業部へのオーナーシップを付与による成長

カーブアウト機能を活用した事業の成長加速

事業単位でカーブアウト(法人化)し、外部を含めたリソースを活用

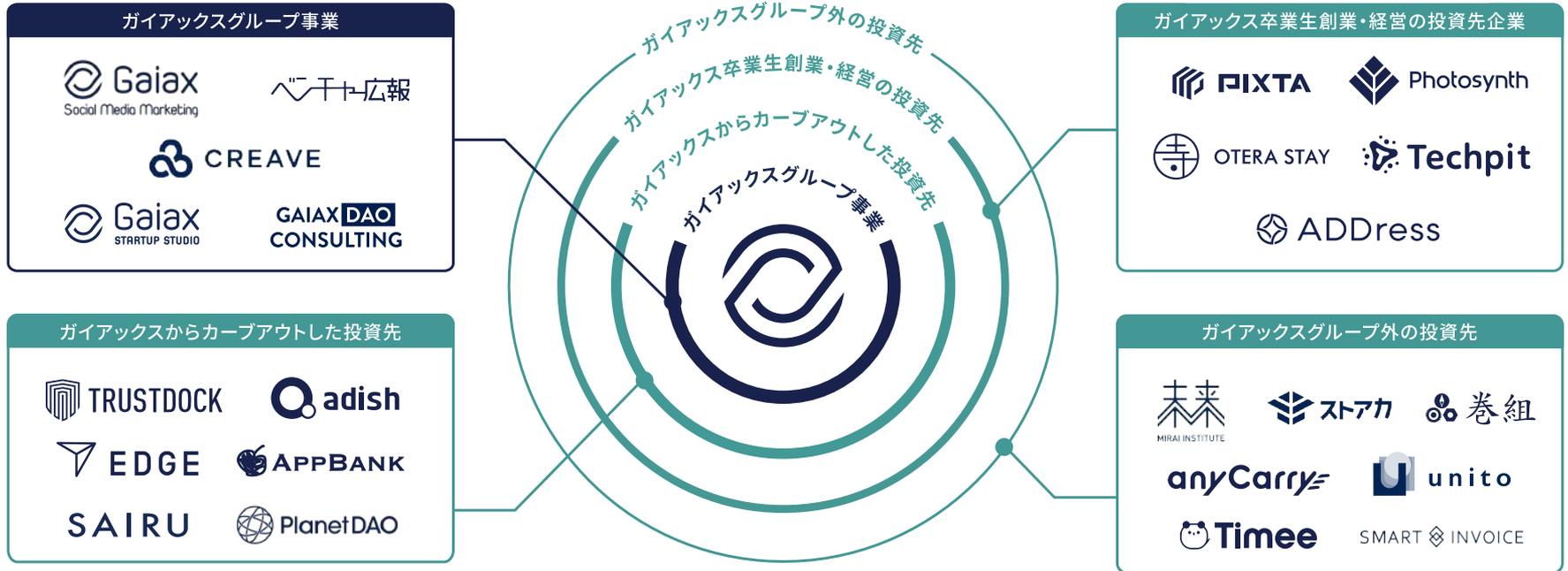


カーブアウトオプション制度活用事例

事業成長を最大化させる取り組みを実施



事業会社と投資会社の「ハイブリッドモデル」



※掲載の投資先は一部です。また、過去の投資先(売却済み)を含みます。

中期経営方針

ソーシャルメディアサービス事業 SOCIAL MEDIA BUSINESS

年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業 INCUBATION BUSINESS

コスト
コントロールと
投資規律の徹底

連結売上・利益・配当 CONSOLIDATED PROFIT & SALES

売上 全社経費込みの利益 配当

安定
成長

黒字

継続的
な配当

2023-2027年度 中期経営方針 業績目標

中期経営方針 2年目は、売上3,370百万円(計画2,970百万円)、営業利益370百万円(計画120百万円)に着地



株主還元方針

株主への継続的な利益還元を目標に

収益性の向上と経営基盤の強化を推し進め、継続的な配当を目指します。

2024年度	特別配当 ※	50円
	2024年12月期 期末配当額	5円
2025年度	2025年12月期 期末配当額(予定)	5円

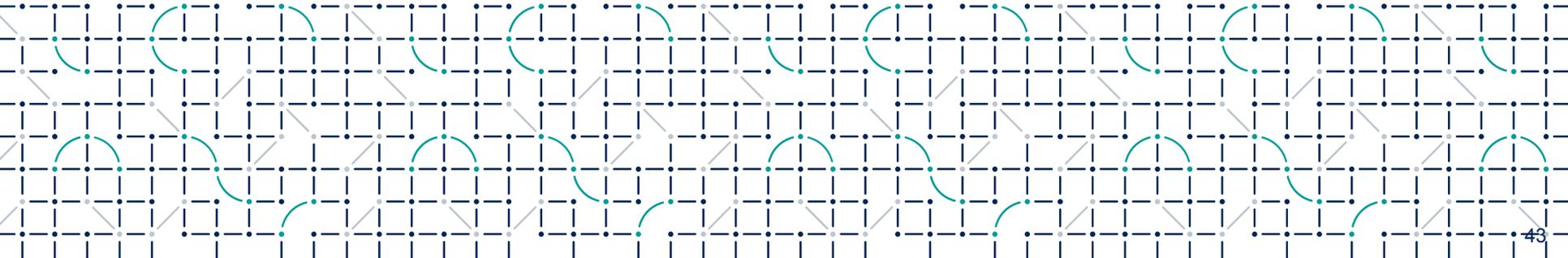
※ 当期の利益水準が期初の業績見通しを大幅に上回る見込みとなったため、1株あたり50円の特別配当を実施(基準日 2024年6月30日)

注意事項

- 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



APPENDIX



会社概要

2025年3月末時点

会社名	株式会社ガイアックス Gaiax Co.Ltd.	従業員数	121名 (連結・正社員)
企業理念	ガイアックスは、「人と人をつなげる」を企業理念とし、人と人とのコミュニケーションの促進や、コミュニケーションを行うサービスや事業の創造に力を注ぎ、世の中全体を思いやる社会の実現に取り組んでいます。	事業内容	・ソーシャルメディアサービス事業 ・シェアリングエコノミー事業 ・インキュベーション事業 ・web3/DAO事業
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	上場市場	名古屋証券取引所 ネクスト市場 証券コード 3775
設立	1999年3月5日	発行株式数	5,337,452株
資本金	100百万円	株主数	4,232名 (2024年12月末時点)
本社	〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-3 MIDORI.so NAGATACHO	決算	12月

インキュベーション事業 投資先パイプライン

アーリーステージ

IPO等

バリュアアップ

 ADDRESS

多拠点居住サービス

 anyCarry

シェア型のデリバリー

 BLOCKSKY Inc.

web3広告プラットフォーム

 CO-NECT

Web受発注システム

 D-Chain

NFTマーケットプレイス

 Dog Huggy

ペット版民泊

 Home Trimmer

出張トリミング

 ホリエモンAI学校

生成AIの研修・コンサル

 KAMADO

アート×web3コミュニティ

 巻組

空き家活用シェアハウス

 MIRAI INSTITUTE

シェアオフィス

 OTERA STAY

寺社民泊体験

 Piece

不動産投資FinTech

 PlanetDAO

不動産投資DAO

 Runtrip

ランニングシェア

 SAIRU

マーケティング支援

 SMART INVOICE

クラウド請求書管理

 SOILNOKIDS

D2Cマーケティング

 SPACEE

会議室シェア

 ストアカ

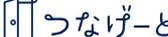
まなびのマーケット

 Techpit

プログラミング教材

 TRUSTDOCK

API型本人確認サービス

 つなげと

体験シェアアプリ

 unito

サブスク住居

 UT HealthTech

遠隔リハビリテーション

 Timee

2024年7月 東証グロース市場上場

 Photosynth

2021年11月 東証マザーズ上場

 adish

2020年3月 東証マザーズ上場

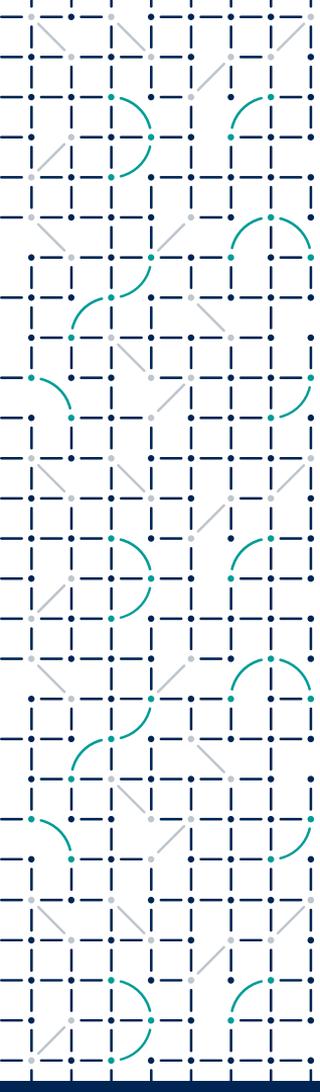
 APPBANK

2015年10月 東証マザーズ上場

 FIXTA

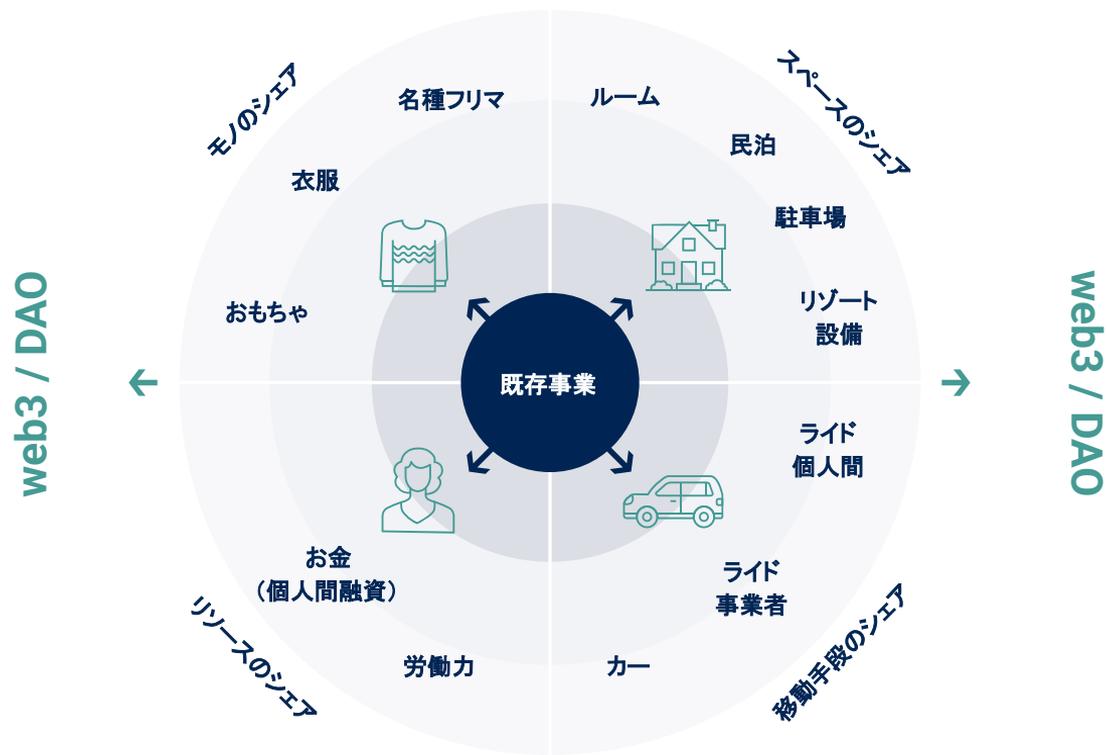
2015年9月 東証マザーズ上場

※掲載の投資先は一部です。



シェアリングエコノミー・web3/DAO市場への取り組み

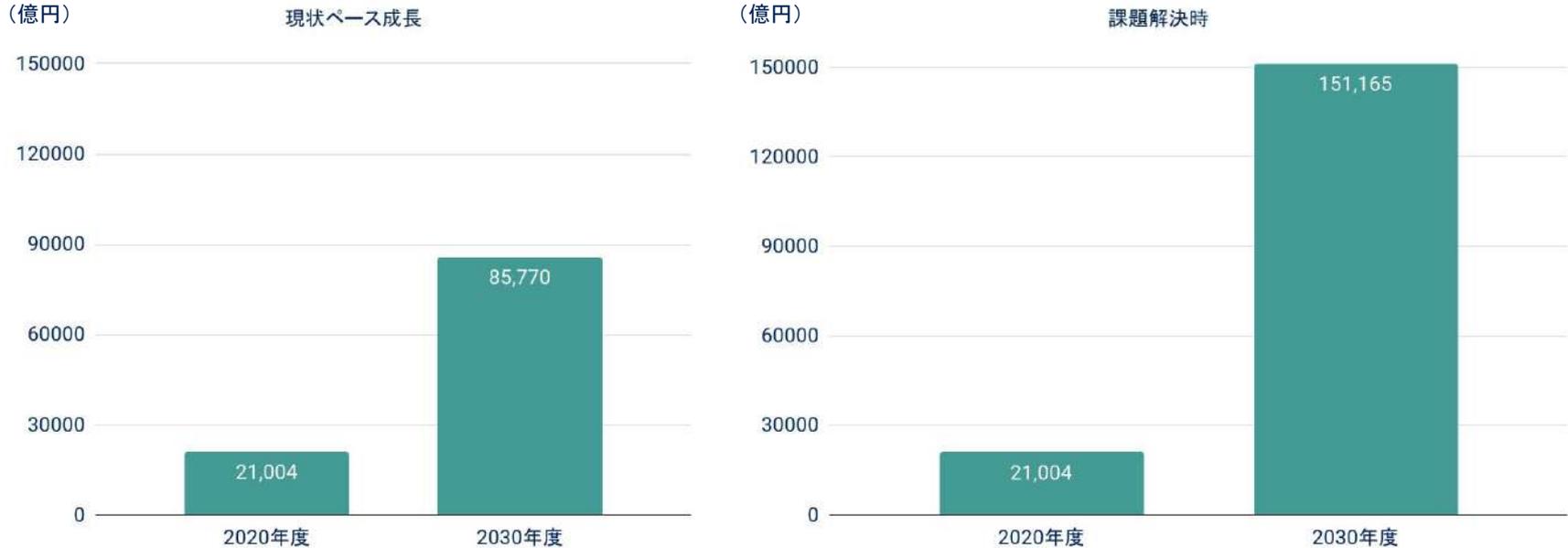
SNSを起点に拡大するシェアリングエコノミー、DAO領域



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

拡大するシェアリングエコノミー領域

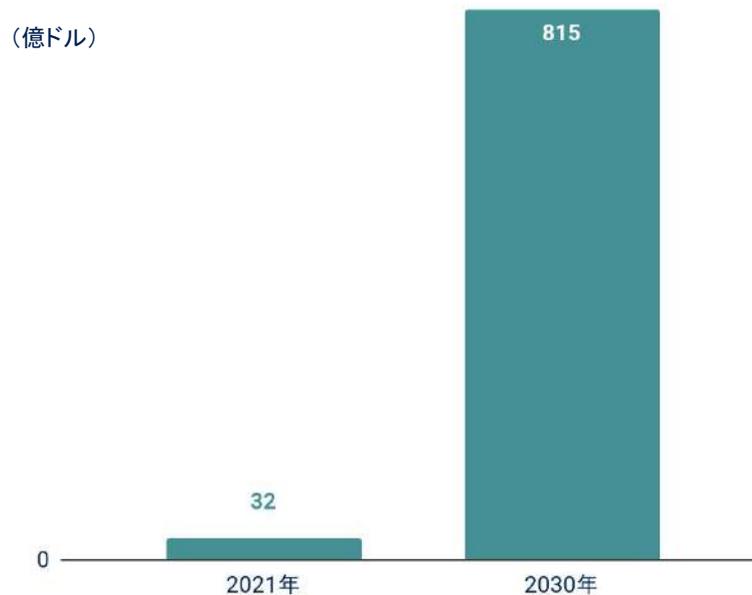
法制度の整備が進む等、市場成長の課題が取り除かれれば
国内シェアリングエコノミー市場は 2030年度に15兆円を超える規模に達する見込み



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

爆発的な拡大が見込まれるweb3市場

web3/DAO分野においては、世界市場規模が 2021年の32億ドルから
年率43.7%で成長し、2030年には815億ドルに達すると予測



※ Global Web 3.0 Market Size to Reach USD 81.5 Billion in 2030 | Emergen Research (<https://www.prnewswire.com/news-releases/global-web-3-0-market-size-to-reach-usd-81-5-billion-in-2030-emergen-research-301559192.html>)